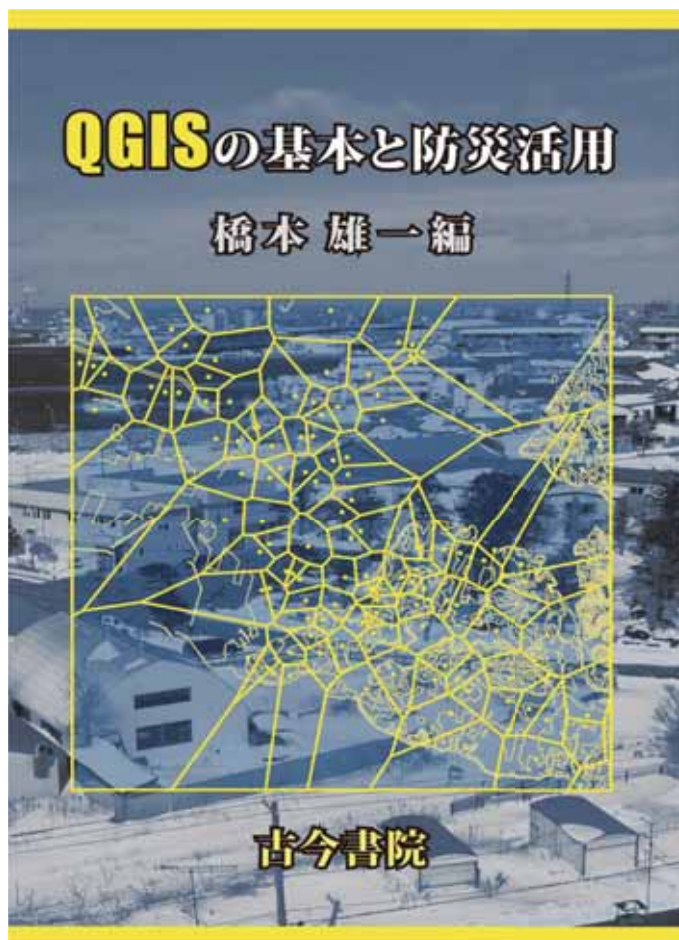


QGIS 2.10.1 (2015年7月リリース)に対応。地理院地図の利用法も解説。



QGIS の 基本と 防災活用

橋本 雄一 編

古今書院 刊

定価 2,700 円 + 税

B5 判

2015年9月下旬刊

インターネットにつながった PC さえあれば誰でも実践可能！フリーソフト QGIS バージョン 2.10.1 の基本操作を解説し、それを活用した津波防災に関する地理空間情報の可視化・分析・検証について研究成果を紹介。

第 部 基礎概念の説明

第 1 章 地理空間情報と GIS / 第 2 章 測地系と座標系

第 部 地理空間情報の入手と地図化

第 3 章 基盤地図情報の地図化 / 第 4 章 国勢調査データのダウンロードと地図化 /

第 5 章 国土数値情報のダウンロードと地図化 / 第 6 章 避難場所のデータベースと分布図の作成 /

第 7 章 北海道津波浸水結果 GIS データのダウンロードと地図化

第 部 QGIS の分析技法

第 8 章 座標変換 / 第 9 章 空間データの結合 / 第 10 章 バッファとポロノイ分割 /

第 11 章 地図データへの属性データの結合 / 第 12 章 検索 / 第 13 章 オーバーレイ

第 部 QGIS の防災活用

第 14 章 津波ハザードマップの作成 / 第 15 章 数値標高モデルを利用したハザードマップ /

第 16 章 地理院地図を利用したハザードマップ / 第 17 章 避難困難地域の人口推定

第 部 GIS による防災の分析事例

第 18 章 北海道における津波浸水想定域人口の推定 / 第 19 章 ネットワークポロノイ領域分割に

よる積雪期の津波避難圏に関する空間分析 / 第 20 章 GPS ログデータを用いた疑似的津波避難の

空間分析 / 第 21 章 積雪寒冷地における保育施設の津波集団避難

第 部 GIS の防災活用に関する検証

第 22 章 モバイル GIS を用いた津波避難支援システムの構築と評価 /

第 23 章 自治体 GIS とプロジェクトマネジメント